

行政職員向け「やさしい日本語」研修

第1回 わかりやすい文書作成

岐阜県には多様な人々が暮らしています。住民サービスをすべての人に届けるために、分かりやすく情報発信ができていますか。外国人県民への情報発信においては、多言語化の他に、難しい言葉を言い換えるなどの配慮をした「やさしい日本語」の活用が注目されています。本研修で、岐阜県の実例も使いながら、より分かりやすい文書作成について考えてみませんか。



令和7年

6月18日(水) 10時~12時

オンライン開催 



講師

岩田 一成 氏 聖心女子大学現代教養学部日本語日本文学科 教授

出入国在留管理庁・文化庁の「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」作成に関わる。また、文化庁の「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」作成に関わる。文化庁「公用文作成の要領」改訂版の作成にも委員として参加。

『読み手に伝わる公用文：〈やさしい日本語〉の観点から』大修館書店
『新しい公用文作成ガイドブック』日本加除出版
『「やさしい日本語」ってなんだろう』筑摩書房



対象

県内のすべての行政職員・公的機関職員

地域住民の方に周知する案内文やチラシを作成する方
ホームページに掲載する情報を作成する方
公用文作成の指導・決裁をする方 など

「やさしい日本語」は高齢者や障がい者への情報発信にも役立ちます。



申込

締切 令和7年 6月11日(水)

ワークを行うため、同じ部屋からグループでの参加がおすすめです。



個人参加



グループ参加

▶
申
込
フ
ォ
ー
ム



LGWAN
<https://tb.logoform-st-japan.asp.lgwan.jp/f/AB6IX>

インターネット
<https://logoform.jp/f/AB6IX>

代表者が参加者情報をとりまとめ、Excelで
下記提出先にお送りください。

【提出先】岐阜県外国人活躍・共生社会推進課
c11176@pref.gifu.lg.jp